



2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年10月30日

上場会社名 株式会社 Jストリーム 上場取引所 東
 コード番号 4308 URL http://www.stream.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石松 俊雄
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 竹見 嘉洋 TEL 03-5765-7744
 四半期報告書提出予定日 2019年11月1日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有
 四半期決算説明会開催の有無： 有 (投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績 (2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	3,621	8.6	142	55.3	155	76.2	43	△17.7
2019年3月期第2四半期	3,333	20.3	91	△33.2	88	△38.4	53	△72.7

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 41百万円 (△33.1%) 2019年3月期第2四半期 62百万円 (△68.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	3.77	—
2019年3月期第2四半期	4.58	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第2四半期	5,270	3,992	71.4	323.26
2019年3月期	5,040	4,027	74.9	324.59

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 3,760百万円 2019年3月期 3,775百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	5.10	5.10
2020年3月期	—	0.00	—	—	—
2020年3月期 (予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2020年3月期の連結業績予想 (2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,160	20.3	420	34.1	430	34.8	210	7.4	18.05

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 有
新規 1社 （社名）株式会社ビッグエムズワイ、除外 1社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期2Q	14,028,700株	2019年3月期	14,028,700株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	2,395,452株	2019年3月期	2,395,452株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期2Q	11,633,248株	2019年3月期2Q	11,633,248株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報	２
（１）経営成績に関する説明	２
（２）財政状態に関する説明	３
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	３
２．四半期連結財務諸表及び主な注記	４
（１）四半期連結貸借対照表	４
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	５
四半期連結損益計算書	
第２四半期連結累計期間	５
四半期連結包括利益計算書	
第２四半期連結累計期間	５
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書	６
（４）四半期連結財務諸表に関する注記事項	７
（継続企業の前提に関する注記）	７
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）	７
（セグメント情報等）	８

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、米中の貿易摩擦等の不安要因や、消費税率上げの影響といった不確実性はありましたが、国内消費は全体に堅調に推移しました。インターネット業界においては、5G時代に向けた国や各企業の取り組みや、新たなサービスの可能性に注目が集まりました。

こうした環境下、当社グループでは、総務省の実施する調査研究の一環としての実証事業企画に参加するなど、成長性の高い市場開拓のための調査研究や業界の協力体制に積極的に参加しつつ、医薬系企業によるWeb講演会の市場開拓のための新サービスや新しい協業体制を推進するなど、主力となる配信・制作サービスの受注につながる販売促進策を展開しました。また、8月には医薬系等の市場開拓・サービス力強化のため、持分法適用会社であった株式会社ビッグエムズワイに追加出資を行い、連結子会社としました。

販売面においては、メディア系のコンテンツ配信や、各種運用・監視にかかる売上が順調に推移しました。医薬系業界を中心としたライブ配信についても前年同期を上回る受注が得られました。また、教育系の動画利用にかかるシステム開発や、企業の事業説明やイベント、販売促進にかかる映像制作の大口受注が得られました。

費用面においては、メディア系技術サポート業務の拡大による増加分や、ビッグエムズワイの子会社化に伴う計上分により外注費が増加しました。販売費及び一般管理費については、グループ企業の増加のほかに特段の増加要因はなく前年同期並の実績となりました。このほか子会社化に伴う各種一時費用を特別損失として計上しました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、連結売上高3,621百万円（前年同期比8.6%増）、連結営業利益142百万円（前年同期比55.3%増）、連結経常利益155百万円（前年同期比76.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益43百万円（前年同期比17.7%減）となりました。

セグメントの売上は次のとおりであります。

（配信事業）

配信事業は、当社グループが保有する配信インフラ、ネットワーク、ソフトウェア資産を顧客に提供し、利用料を得る事業です。PC、スマートフォン、リビングデバイス等の各種端末を対象とするライブ及びオンデマンドストリーミング、ダウンロードサービスやCDNサービス、配信に伴って利用される各種アプリケーションの提供等が含まれます。

当第2四半期連結累計期間においては、メディア業界のコンテンツ配信にかかる売上や、運用受託業務の受注が順調に推移しましたが、大規模メディアからの運用受託に伴う外注費が増加したため、相対的に利益率を引き下げる結果となりました。医薬系企業によるオンライン講演会等の情報提供のためのライブ配信案件の受注は、前年度の主要顧客の需要減退から回復し、前々年度並となりました。これらの結果、当事業の売上高は1,960百万円（前年同期比17.1%増）となりました。

（制作・システム開発事業）

制作・システム開発事業は、ウェブサイトやシステム、コンテンツ等の制作・開発を顧客から受託し、成果物を提供する事業です。配信する映像等コンテンツの制作や、コンテンツを視聴する受け皿となるウェブサイトの制作、顧客が一般消費者向けに展開するコンテンツ配信ビジネスや情報提供サイトのシステム開発、更にこれらの運用受託等が含まれます。

当第2四半期連結累計期間においては、教育系の動画利用にかかるシステム開発の大口受注が得られましたが、Web制作に関する受注が比較的小口の案件が多くなり、全体では前年度並に推移しました。映像制作は大口の案件が少なく、また、映像制作系子会社におけるスタジオ利用の受注が低水準に留まったことが売上減少要因となりましたが、ビッグエムズワイによる医薬系企業向けのWeb制作、映像制作やシステム開発売上が増加要因となりました。これらの結果、当事業の売上高は1,258百万円（前年同期比6.0%増）となりました。

（その他）

その他の領域では、多チャンネル事業者やCATV事業者向けのエンコード等設備のインテグレーション業務の他、動画広告を中心とした広告代理業に類するサービスを提供しております。当第2四半期連結累計期間におけるその他の売上高は、広告関連売上は医薬関連中心に伸長したものの、子会社によるエンコード等設備の販売を伴うインテグレーション業務売上については前年度のような大型受注がなかったことから減少し、401百万円（前年同期比14.8%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

【資産、負債及び純資産の状況】

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は3,625百万円となり、前連結会計年度末に比べ233百万円増加いたしました。これは主に受注増加に伴う売掛金の増加及び仕掛品の増加等によるものであります。固定資産は1,645百万円となり、前連結会計年度末に比べ3百万円減少いたしました。これは主に関連会社を連結子会社化したことによる投資有価証券の減少及び連結上のれん計上によるものであります。

この結果、総資産は、5,270百万円となり、前連結会計年度末に比べ230百万円増加いたしました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は1,070百万円となり、前連結会計年度末に比べ214百万円増加いたしました。これは主に未払金、賞与引当金、前受金の増加によるものであります。固定負債は長期未払金の計上等により207百万円となりました。

この結果、負債合計は1,277百万円となり、前連結会計年度末に比べ265百万円増加いたしました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は3,992百万円となり、親会社株主に帰属する四半期純利益43百万円を計上した一方で、配当金の支払い59百万円を実施したことにより前連結会計年度末に比べ35百万円減少いたしました。

【キャッシュ・フローの状況】

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前第2四半期連結累計期間に比べ49百万円増加し、1,853百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益108百万円の計上、減価償却費176百万円の計上、売上債権の減少107百万円などの資金の増加や未払金の増加94百万円などの資金の増加がありました。前第2四半期連結累計期間に比べ法人税等の支払いが増加したため、営業活動によるキャッシュ・フローは219百万円（前年同期比18.3%減）の収入となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形及び無形固定資産の取得による支出126百万円や子会社株式の取得による支出133百万円などにより、259百万円（前年同期比43.8%減）の支出となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、リース債務の返済による支出37百万円や配当金の支払い59百万円などにより116百万円（前年同期比4.3%減）の支出となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年7月30日付「2020年3月期 通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」において公表いたしました連結業績予想から修正はございません。

２．四半期連結財務諸表及び主な注記

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,010,401	1,853,860
受取手形及び売掛金	1,177,827	1,404,807
商品及び製品	36,601	45,166
仕掛品	27,759	124,541
その他	140,118	197,904
貸倒引当金	△1,350	△959
流動資産合計	3,391,357	3,625,320
固定資産		
有形固定資産	389,040	386,729
無形固定資産		
のれん	68,335	268,302
ソフトウェア	756,757	766,354
その他	8,023	8,003
無形固定資産合計	833,117	1,042,660
投資その他の資産		
投資有価証券	241,585	3,827
繰延税金資産	49,260	71,108
その他	143,012	147,825
貸倒引当金	△6,936	△6,936
投資その他の資産合計	426,922	215,824
固定資産合計	1,649,080	1,645,214
資産合計	5,040,438	5,270,535
負債の部		
流動負債		
買掛金	35,192	7,502
1年内返済予定の長期借入金	1,080	19,406
未払金	414,092	507,336
未払法人税等	61,754	86,364
賞与引当金	37,110	72,532
その他	306,310	377,004
流動負債合計	855,540	1,070,146
固定負債		
長期借入金	1,834	17,974
長期未払金	452	50,340
退職給付に係る負債	16,054	14,938
資産除去債務	34,572	45,902
その他	104,303	78,608
固定負債合計	157,217	207,763
負債合計	1,012,758	1,277,910
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,182,379	2,182,379
資本剰余金	626,241	626,241
利益剰余金	1,426,560	1,411,048
自己株式	△459,221	△459,221
株主資本合計	3,775,960	3,760,447
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	57	95
その他の包括利益累計額合計	57	95
非支配株主持分	251,662	232,081
純資産合計	4,027,680	3,992,624
負債純資産合計	5,040,438	5,270,535

(２) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第２四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第２四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第２四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	3,333,132	3,621,048
売上原価	2,193,142	2,362,089
売上総利益	1,139,990	1,258,958
販売費及び一般管理費	1,048,444	1,116,806
営業利益	91,545	142,152
営業外収益		
受取利息	35	15
持分法による投資利益	—	10,108
その他	3,475	4,444
営業外収益合計	3,511	14,568
営業外費用		
支払利息	677	1,088
為替差損	6,047	—
その他	23	11
営業外費用合計	6,748	1,099
経常利益	88,308	155,621
特別損失		
固定資産除却損	1,023	296
段階取得に係る差損	—	47,071
特別損失合計	1,023	47,367
税金等調整前四半期純利益	87,284	108,253
法人税、住民税及び事業税	29,040	59,371
法人税等調整額	△3,647	7,365
法人税等合計	25,392	66,736
四半期純利益	61,891	41,516
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	8,661	△2,301
親会社株主に帰属する四半期純利益	53,230	43,817

(四半期連結包括利益計算書)

(第２四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第２四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第２四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	61,891	41,516
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	176	37
その他の包括利益合計	176	37
四半期包括利益	62,067	41,554
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	53,406	43,855
非支配株主に係る四半期包括利益	8,661	△2,301

(３) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第２四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第２四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	87,284	108,253
減価償却費	162,741	176,308
のれん償却額	13,531	17,150
賞与引当金の増減額 (△は減少)	10,066	4,996
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△430	△667
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	107	△1,116
有形及び無形固定資産除却損	1,023	296
段階取得に係る差損益 (△は益)	—	47,071
受取利息及び受取配当金	△66	△51
支払利息	677	1,088
持分法による投資損益 (△は益)	—	△10,108
有価証券売却損益 (△は益)	△100	—
売上債権の増減額 (△は増加)	95,117	107,950
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△21,582	△76,895
その他の資産の増減額 (△は増加)	△94	△39,347
仕入債務の増減額 (△は減少)	△13,949	△130,581
未払金の増減額 (△は減少)	△112,573	94,505
その他の負債の増減額 (△は減少)	62,980	△464
その他	△1,412	△1,186
小計	283,319	297,200
利息及び配当金の受取額	1,634	1,425
利息の支払額	△698	△1,086
法人税等の支払額	△23,355	△78,018
法人税等の還付額	7,682	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	268,581	219,521
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△26,436	△12,203
無形固定資産の取得による支出	△197,112	△113,918
敷金及び保証金の差入による支出	△6,653	△63
敷金及び保証金の回収による収入	1,127	—
投資有価証券の取得による支出	△231,850	—
有価証券の売却による収入	100	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による 支出	—	△133,337
資産除去債務の履行による支出	△1,296	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△462,121	△259,523
財務活動によるキャッシュ・フロー		
借入金の返済による支出	△1,776	△2,762
リース債務の返済による支出	△28,178	△37,365
配当金の支払額	△86,856	△59,130
非支配株主への配当金の支払額	△4,920	△17,280
財務活動によるキャッシュ・フロー	△121,730	△116,538
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△315,270	△156,540
現金及び現金同等物の期首残高	2,119,528	2,010,401
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,804,258	1,853,860

（４）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	配信	制作・ システム 開発	計				
売上高							
外部顧客への売上高	1,674,250	1,187,292	2,861,543	471,589	3,333,132	—	3,333,132
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	69,653	34,103	103,757	289	104,046	△104,046	—
計	1,743,904	1,221,396	2,965,301	471,878	3,437,179	△104,046	3,333,132
セグメント利益又は 損失(△)	432,099	38,072	470,172	△10,586	459,585	△368,039	91,545

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、広告関連や案件受注に伴い発生するドメインの手配代行、機器販売等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△368,039千円にはセグメント間取引392千円及び配賦不能営業費用△368,432千円が含まれております。配賦不能営業費用の主なものは、総務・経理部門等の管理部門に係る費用及び研究開発費等であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	配信	制作・ システム 開発	計				
売上高							
外部顧客への売上高	1,960,270	1,258,903	3,219,173	401,874	3,621,048	—	3,621,048
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	52,950	34,347	87,297	5,298	92,595	△92,595	—
計	2,013,220	1,293,250	3,306,471	407,172	3,713,643	△92,595	3,621,048
セグメント利益	481,360	20,769	502,129	3,063	505,193	△363,040	142,152

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、機器販売売上や広告関連売上等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△363,040千円にはセグメント間取引290千円及び配賦不能営業費用△363,331千円が含まれております。配賦不能営業費用の主なものは、総務・経理部門等の管理部門に係る費用及び研究開発費等であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

当第2四半期連結会計期間において株式会社ビッグエムズワイの株式を追加取得し、連結の範囲に含めたことにより「制作・システム開発」において217,116千円のれんが発生しております。